

自殺予防教育プログラム実施報告書

学校名	北海道遠別農業高等学校
-----	-------------

(1) 教職員間の共通理解を図る研修等の実施

研修等の実施日	令和5年8月17日(木)	研修参加人数	16人
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業明けの生徒の状況観察等について(自殺予防等) ・長期休業明けや有名人の自殺者が出た際に、生徒の自殺も増えることを確認し、教員間で連携しながら生徒の観察や教育相談を行っていくように確認した。 		
研修に参加した教職員の声	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒の不安や心配事を傾聴するなど、悩みに寄り添い生徒理解に努める。 ・教員が生徒の尊い命に真剣に向き合い、自殺者を絶対に出不さない強い意志を持って予防に取り組む。 		
研修等で使用した資料名	「子供に伝えたい自殺予防(学校における自殺予防教育導入の手引き)」(文科省) 「自殺予防教育の実施に向けて(その2)」(道教委)		

(2) 「自殺予防教育プログラム」の実施

	実施状況(主な実施内容、アセスメントツール等による生徒の変容、生徒の感想等)
A 援助希求的 態度の 育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心と体の状況の変化を把握するため、アセスメントツール「心と体のチェック」を実施した。 ・児童生徒のコミュニケーションスキルを測定し、生徒の指導に生かすため「子ども理解支援ツール『ほっと』」を実施した。 ・生徒の援助希求的態度育成を図るため、スクールカウンセラーを招き、1～2カ月に一度、定期的に悩み等を抱える生徒へのカウンセリングを実施した。 ○ 生徒の変容を促す工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・悩み等を持つ生徒の援助希求的態度の育成を図るため、スクールカウンセリングを定期的に実施した。 ・生徒の様々な変化等に教員が対応できるよう、朝の打合せにおいて、生徒に係る情報共有する時間を設定した。 ・日頃から生徒の気になる様子を集約し、様々な教育活動において生徒の支援に努めた。 ○ 生徒の変容 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な悩みを聞いてもらいたいという生徒が増加するとともに、定期的なカウンセリングがあることで、相談できるという心の安心感に寄与できた。 ○ 生徒の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・話せて良かった。また利用したい。

<p>B 早期の問題認識 (心の健康)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の今日的課題の理解を目指し、1学年保健の授業において、保健体育科教諭が事例や表を用いて、15歳～39歳までの最多の死因は自殺であることや、自殺の背景には精神疾患も多数あり、不調に気付いたら早くに相談や助けを求めることなどについて授業を行った。 ・全学年を対象に、高校生ステップアップ・プログラム事業における集団カウンセリングを実施した。 ○ 生徒の変容を促す工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・集団カウンセリングでは、同世代の悩みを共有し、他者を思いやることができるよう工夫した。 ・教職員の朝の打ち合わせにおいて、生徒情報共有の時間を設け、生徒理解を深めた。 ○ 生徒の変容 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で声を掛け合うことが見られるようになった。 ・困っている生徒が、教員などに相談することが増加した。 ○ 生徒の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患で心身が良くなくても、それを支えられる仲間がいることや、精神疾患への理解があれば、もっと生きやすい環境になるかもしれないと思った。
<p>C ストレス対処能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアサーティブコミュニケーションについての理解を深めるため、教科保健の授業において、1学年を対象に札幌市からスクールカウンセラーをお招きし、「心のバリアフリー～人と人のつながり～」をテーマに講演を実施した。 ○ 生徒の変容を促す工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツール「心と身体のチェック」や「子ども理解支援ツール『ほっと』」の結果を分析し生徒の支援に活用した。 ○ 生徒の変容 <ul style="list-style-type: none"> ・集団カウンセリングを通して、生徒が上手な気持ちの保ち方や自己の感情コントロールの方法が促進され、気持ちを切り替えて行動できる生徒が増加した。 ○ 生徒の感想 <ul style="list-style-type: none"> ・自己認識があり、自制心が強く、精神的柔軟性の高い人ほど、自己の感情コントロールが出来ると思うので、自己の気付きや心のコントロールする力をもっと高めていきたいと思った。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">【ステップアッププログラムの様子】</p>